



みんなのできる 地球温暖化防止活動

「カーボンニュートラルロードマップ」を決定!!

※マークは県の地球環境保全のキャラクターです

福島県地球温暖化防止活動推進センター

事務局長 鈴木和隆

(特定非営利活動法人つくししまNPOネットワーク)

■カーボンニュートラル (CN)

カーボンニュートラル (carbon neutral) という言葉を増やしました。「炭素中立」と訳されます。地球温暖化など、気候変動に大きな影響を与えているのが、二酸化炭素 (CO₂) の排出量の増加です。厳密には、今まで輩出した総量です。CNとは、CO₂を「増やすこと」と「減らすこと」を釣り合わせて、できる事なら排出量をマイナスにしていこうという考え方です。

■福島県2050年カーボンニュートラルロードマップ

福島県は5月13日、ふくしま地球温暖化対策推進本部会議を開き、「福島県2050年カーボンニュートラルロードマップ」を決定しました。このロードマップ (工程表) は、2021年2月に宣言した「福島県2050年カーボンニュートラル」の実行計画です。

(出典 <https://www.pref.fukushima.lg.jp/site/ontai/>)

carbon-neutral-roadmap.html)

部門ごとの温室効果ガスの削減目標を10年単位で初めて設定しました。2013年度と比較し、2030年度は47%、40年度は70%、50年度は93%の削減を目標としています。残り7%を、植林などで大気中のCO₂を「減らすこと」で、「炭素中立」を目指します。

■5部門

ロードマップには、5部門 (産業・運輸・民生業務・民生家庭・廃棄物) ごとに詳細な目標が設定されています。民生家庭部門に注目してみましょう。福島県の温室効果ガスの排出量の合計は1870万トンです。民生家庭部門は353万トンですから、約20%弱を占めています。(2013年度) 一般家庭1世帯から排出される量は約6500kgです。民生家庭部門でのCO₂排出削減の取り組みが大切なことがわかります。

■みんなのできる地球温暖化防止活動

民生家庭部門の課題は、快適な生活を維持しながらCNに取り組むことです。このロードマップには、たくさんのヒントが示されています。福島県センターでは、ロードマップの出前講座 (資料の配布や説明会など) を開催しています。希望する団体・個人はご連絡ください。電話・024-944-0083

(連絡先) <http://fukushima-ondankaboushi.org/>